

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水洗化普及事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	浅川 晃					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公共下水道供用開始区域内の未接続者	意図	公共下水道供用開始区域内の家屋等所有者への水洗化促進。
事業内容	公共下水道供用開始区域内の拡大に合わせ早期接続（普及活動）を促進する。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道へ接続する家屋等の増加により、河川へ流出する生活排水等が減少し水質向上が図られる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	水洗化率	92.50			
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
公共下水道への接続する家屋等の増加により、生活環境の向上、河川等の水質改善が図られる。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	686,500	1,006,800	2,959,908
事業費(b)(円)			1,971,108
うち一般財源			1,971,108
職員給与費(c)(円)	686,500	1,006,800	988,800
人役・職員(人)	0.10	0.15	0.15
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	未接続家屋の台帳整備を行い、接続依頼を引き続き実施する。	③取組における課題(Check)	未接続世帯へ接続を促す効果的な対応策の検討。（水洗便所等改造資金融資あっせん利子補給制度以外）
②H30に実施した取組(Do)	H30年度より未接続家屋への戸別訪問の強化を図るため、業務委託により市内全域の水洗化普及活動を行った。訪問先では、公共下水道への接続の効用について説明し早期接続を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	未接続家屋への集中的な普及活動を行うため、今後も水洗化普及業務委託を継続していく。上下水道展や市民まつり等のイベントを通じて下水道普及に関するPR活動を積極的に行う。